

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	音楽業界研究 1（著作権）	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	ヴォーカリストコース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	Power Pointを使用した授業、プリントを作成し配布、キャリアサポートブックを使用する						
担当教員情報							
担当教員	山宮 正好			実務経験の有無・職種	有・著作権管理会社		
学習目的							
著作権（概要、考え方、二次創作、判例、JASRAC問題等）、ネットで話題になっている新技術や世の中の動き、Webサイト構築やSNS活用、契約書の基礎などの音楽ビジネスにおいて必要な知識を得て、これからの音楽生活に著作権がいかに関わっていて、自分の身を守ってくれるものであることを理解することを目標としている。卒業すると著作物で収入を得ている学生も少なくない為、著作権の知識をつけることで音楽家としての生活を送ることができるようになることを様々な例題と共に教えて行く。実際の契約書に触れることで、音楽メーカー、事務所から提示される契約書に対して、平常心で読むことができるような知識を育む。							
到達目標							
著作権に対して、意識のない学生がほとんどであるが、はじめは様々な著作権の種類を覚えることから始める。自分の音楽生活とは切っても切れない密接な権利であることを認知させる。ミュージシャンの収入の得る方法の一つではないこと、JASRACからの印税、印税を得るために不可欠な契約書の重要性を教える。近年のネットビジネスの基礎知識（音楽の情報発信）。年度末に行われる確定申告もミュージシャンとして生活していく為には、重要であることを理解させる授業にしている。							
教育方法等							
授業概要	著作権の知識を中心としながら、法律・判例のわかりやすい解説、事例の紹介、ワークシートによる理解度の確認を反復していく。座学ばかりでは退屈していく為、映像を使用したり、グループワークなどを展開し、授業をアレンジしていく。学生自身を成功している音楽家役としてロールプレイング授業も展開していく。						
注意点	専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。社会に出れば交通機関が乱れようとも仕事に遅れないことが基本であるため、その認識を高める。また一般常識問題に関しては知らない単語や言葉が出てくることもしばしばあり、その日分からなかったことは講義にあたる講師に確認したり、自ら調べることを怠ってはいけない。コミュニケーション力を重視するため、仲が良い学生だけではなく普段関わりの薄い学生とも交流を持ち、視野を広げること。毎回配布するワークシートを前後期試験の対策として活用すること教科書等はないので、ワークシートやプリント資料、スライド資料等を積極的に活用すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	オリエンテーション			当講義オリエンテーション、授業の目的、音楽ビジネスに必要な著作権概要・導入			
2回	著作権概要			概要、種類、発生と登録手続き、有効期限、時事問題			
3回	著作人格権、コライトとは			共同著作、法人著作、著作人格権（おふくろさん問題）			
4回	著作権侵害への対抗措置			外国人の著作物、著作権侵害への対抗措置			
5回	著作物あれこれ			著作物として認められる事例			
6回	著作権の詳細①			JASRACと音楽教室の問題①			
7回	著作権の詳細②			JASRACと音楽教室の問題②			
8回	著作権の詳細③			アレンジやカバー曲の話、パブリックドメイン			
9回	著作隣接権について			プレイヤーサイドの話、著作隣接権			
10回	JASRACについて知る①			概要、業務内容、信託、包括契約等			
11回	JASRACについて知る②			JASRAC について知る (2)（信託契約、新規著作権管理団体）			
12回	JASRACについて知る③			JASRAC について知る (3)（様々な立場から考えるJASRAC）			
13回	メーカー、プロダクションの役割			アーティストとメーカー、プロダクション、その歴史と変化			
14回	音楽業界の収入について			印税計算入門			
15回	まとめ			前期試験対策			